

トカラ列島で発見された海底火山について*

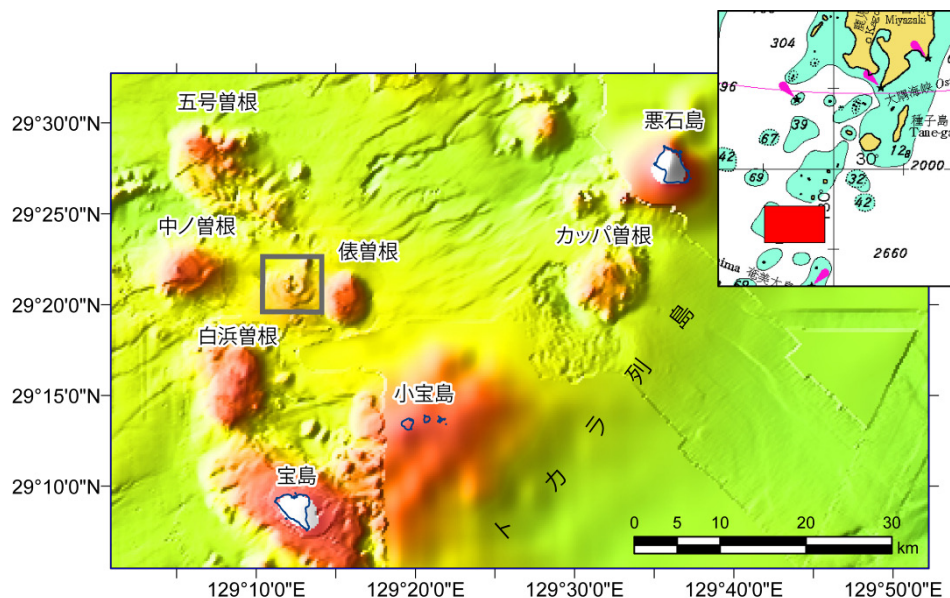
The submarine volcano in TOKARA Islands

海上保安庁
Japan Coast Guard

我が国領海及び排他的経済水域において、海洋権益の保全及び海洋の総合的管理に必要な基盤情報を収集・整備するため、平成 25 年 4 月から 5 月にかけて鹿児島県奄美大島北方海域において海底地形調査を実施したところ、海底火山の詳細な地形データを得ることができたので報告する。

海底地形調査は、海上保安庁海洋情報部所属の測量船「昭洋」（総トン数 3,000 トン）を使用して、マルチビーム音響測深機により実施し、当該海域における詳細な海底の地形（第 1 図）を得ることができた。

その結果、トカラ列島宝島の北方約 25km の地点に、小型のカルデラを伴う海底火山を新たに確認することができた。



第 1 図 位置図及び海底地形図

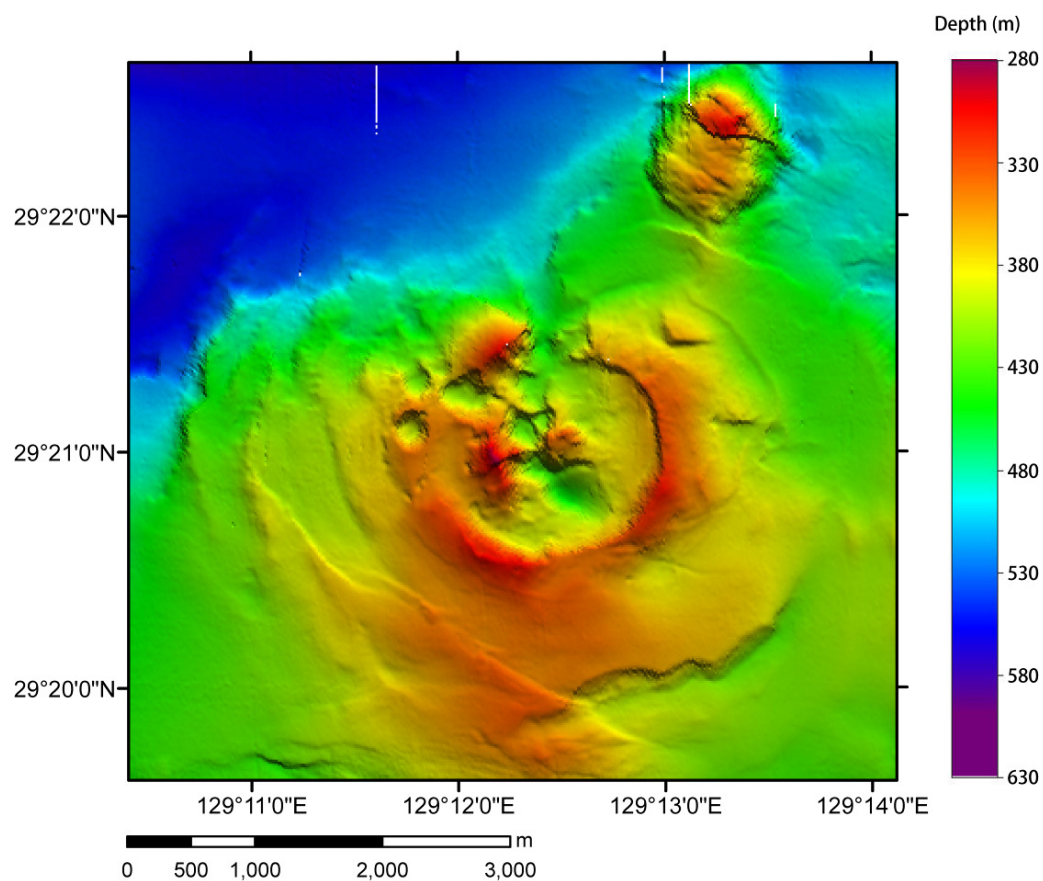
Fig.1 Location map of the submarine volcano around Tokara Islands.

本海底火山は、奄美大島の北方の北緯 29 度 21 分 00 秒、東経 129 度 12 分 25 秒にあり、直径約 1,600m のカルデラ内に中央火口丘及び複数の小火口を有する複成火山である。カルデラ内の小火口は北西－南東方向に並んでいるように見える。中央火口丘の最浅部の水深は約 282m で、カルデラ縁上の最浅部の水深は約 302m、カルデラの南東部にある火口内の最深部は約 453m である。また、山体周辺には北西－南東方向の断層変位地形が見られる（第 2 図及び第 3 図）。

火山地形はいずれも新鮮に見えるため、比較的新しい火山である可能性がある。

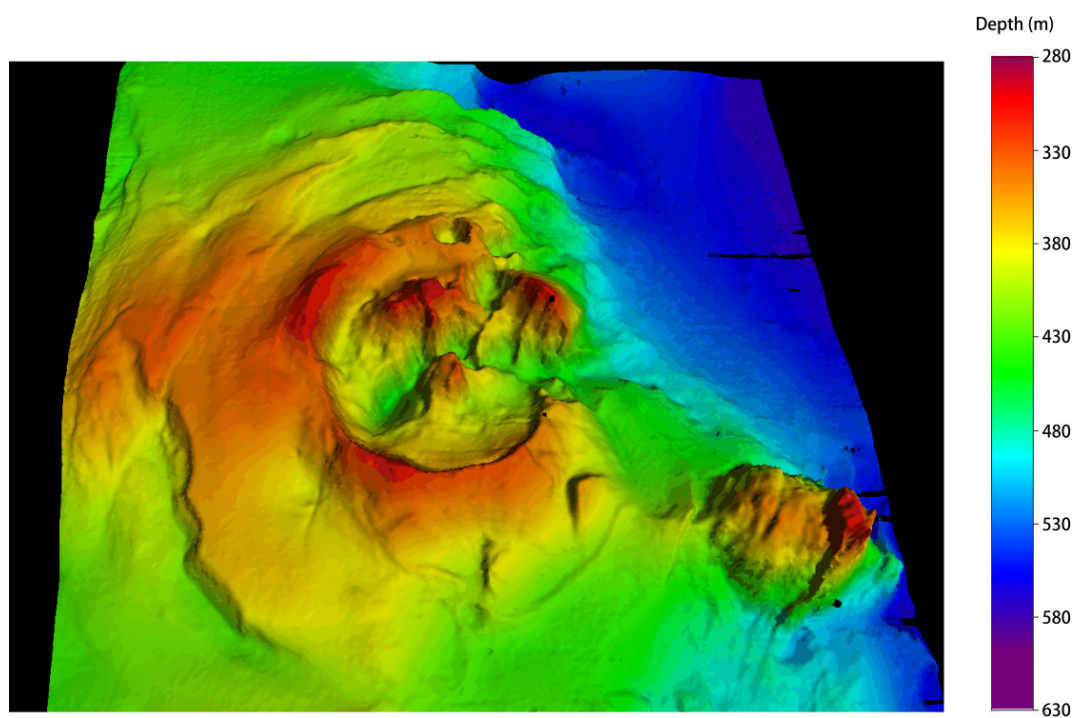
当該地区に海底火山の活動記録はない。

* 2013 年 7 月 17 日受付



第 2 図 海底地形図

Fig.2 Bathymetric map of the submarine volcano.



第 3 図 鳥瞰図 東側から

Fig.3 Bird's eye view of the submarine volcano.